**性能評価申請図書**

(特定防火設備・防火設備)

**申請する内容は以下のとおりです。この申請図書及びこの申請に関連して提出する資料の記載事項は、事実に相違ありません。**

**(1)会社概要**

|  |  |
| --- | --- |
| 会社名 | ○×株式会社 |
| 所在地 | 〒103-0000　東京都中央区日本橋○○町＊―＊―＊＊　△△ビル＊階 |
| 電話番号 | 03-\*\*\*\*-\*\*\*\* |
| 代表者名 | ○×　太郎 |

**(2)仕様範囲の説明資料（性能評価試験を行う試験体の仕様と構造の仕様の比較）、**

**構造説明図、施工方法の仕様書**

「別紙」のとおり。

**(3)その他**

・大臣認定書写し

(評価対象に大臣認定品が含まれる場合)

・その他、必要とする資料

(事前相談において担当者から要望があった場合)

※これにより取得した個人情報は、性能評価事業の実施並びに性能評価、試験、システム審査、標準化、調査研究の事業に関する情報をお知らせするために使用し、第三者への開示を行わないなど個人情報保護法に則った適正な管理を行ってまいります。 v190115

正式名称を記入してください。（わからない場合は一般名称でも構いませんが商品名は記入しないでください。）

記載例

1.構造名：

○○窓

2.試験体の選定：

選定した試験体の仕様を表1～表3に示す。

試験体の諸元を記載してください。

数値は全て確定値（範囲を持たない数値）で記載してください。

表1　寸法の仕様・試験体

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項目 | 仕様 | 試験体 |
| 枠外幅 （WW） | ○○～○○mm | ○○mm |
| 開口幅 （W） | ○○～○○mm | ○○mm |
| 枠外高さ （WW） | ○○～○○mm | ○○mm |
| 開口高さ （W） | ○○～○○mm | ○○mm |
| 上枠見付け　(a)  　　　寸法　(a0)  　　　　　　(a1)  　　　　　　(a2)  　　　　　　(a3) | ○○～○○mm  ○○～○○mm  ○○～○○mm  ○○～○○mm  ○○mm | ○○mm  ○○mm  ○○mm  ○○mm  ○○mm |
| 下枠見付け　(b)  　　　寸法　(b0)  　　　　　　(b1)  　　　　　　(b2)  　　　　　　(b3) | ○○～○○mm  ○○～○○mm  ○○～○○mm  ○○～○○mm  ○○mm | ○○mm  ○○mm  ○○mm  ○○mm  ○○mm |
| 押縁見込　　(d)  寸法 | ○○～○○mm | ○○mm |
| 枠見込寸法 (w)  (e)  (f)  (g)  (h) | ○○～○○mm  ○○～○○mm  ○○～○○mm  ○○～○○mm  ○○mm | ○○mm  ○○mm  ○○mm  ○○mm  ○○mm |
| 周壁部の仕様 | 乾式工法又は湿式工法注) | 乾式工法 |

注) 乾式工法：せっこうボード等  
湿式工法：セメントモルタル等

数字の表現は以下の例示に従ってください。（例示の単位はmm）

・○mm、○mm×○mm

・○(±●)mm、○(±●)mm×○(±●)mm

・○～○mm、○～○mm×○～○mm

必要に応じて記号を表記してください。

但し、記号に下付文字は使用しないでください。

原則、防耐火性能に寄与する部品

項目ごとに通し番号を記載してください。

また、証明書類の右上に当該番号を記載してください。

試験体の諸元を記載してください。数値は全て確定値（範囲を持たない数値）で記載してください。

表2　主構成材料の仕様・試験体

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| No. | 項目 | 申請仕様 | 試験体 |
| (1) | 上枠  [市場調達(申請者購入品を提供)] | 材料：○○○鋼板(JIS G ○○0)  厚さ：○～○mm | 材料：同左(同左)  厚さ：○mm |
| (2) | たて枠  [市場調達(申請者購入品を提供)] | 材料：○○○(国土交通大臣認定不燃材料：NM-000)  厚さ：○～○mm | 材料：同左(同左)  厚さ：○mm |
| (3) | 下枠  [市場調達(申請者購入品を提供)] | 材料：平成12年国土交通省告示第○○号に適合する材料  厚さ：○～○mm | 材料：同左  厚さ：○mm |
| (4) | ガラス  [特注品(申請者購入品を提供)(○×会社製)] | 材料：網入板ガラス  厚さ：○mm又は○mm  種類：型板又は磨き板  網の形状：ひし網又はかく網  網の材質：○○  網の線径：○mm  網目間隔：○×○mm又は○×○mm | 材料：同左  厚さ：○mm  種類：型板  網の形状：ひし網  網の材質：同左  網の線径：同左  網目間隔：○×○mm |
| (5) | 遮炎材  [市場調達(申請者購入品を提供)] | 材料：○○樹脂  組成(質量％)：  ○○ ○(±●)  ○○ ○(±●)  密度：○g/cm3  厚さ：○mm  寸法  (1)上枠両端部　○×○mm  (2)下枠　　　　○mm×全長 | 材料：同左  組成(質量％)：  同左 ○  同左 ○  密度：同左  厚さ：同左  寸法  (1)同左  (2)同左 |

原則、付属的に用いられる部品

表3　副構成材料の仕様・試験体

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| No. | 項目 | 申請仕様 | 試験体 |
| (6) | アンカー  [市場調達(申請者購入品を提供)] | 材料：○○○鋼板(JIS G ○○0)  厚さ：○～○mm  取付間隔：○○～○○mm | 材料：同左(同左)  厚さ：○mm  取付間隔：○○mm |
| (7) | セッティングブロック  [市場調達(申請者購入品を提供)] | 構成：①及び②  ①○○  材料：○○ゴム  質量：○g以下  ②○○  材料：○○○  寸法：○×○×○mm以上  数量：○個 | 構成：①及び②  ①同左  材料：同左  質量：○g以下  ②同左  材料：同左  寸法：○×○×○mm  数量：○個 |

つづく

表が2ページにまたがる場合は“つづく”と記入してください。

つづき

表が2ページにまたがる場合は“つづき”と記入してください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| (8) | ガラス押え  [市場調達(申請者購入品を提供)] | 材料：ポリウレタン系  質量：○○g/m | 同左  質量：同左 |
| (9) | バックアップ材  [特注品(申請者購入品を提供)(○×会社製)] | 材料：○○○  厚さ：○mm  質量：○○g/m3 | 材料：同左  厚さ：同左  質量：同左 |
| (10) | 仕上げ塗料  [特注品(申請者購入品を提供)(○×会社製)] | 仕様：あり又はなし  材料：○○○ | 仕様：あり  材料：同左 |
| (11) | 面格子  [特注品(申請者購入品を提供)(○×会社製)] | 材料：○○○  遮蔽率：○％以下 | 材料：同左  遮蔽率：○％ |
| (12) | 留付材  [特注品(申請者購入品を提供)(○×会社製)] | (1) ○○取付け用  材料：ねじ  寸法：φ4×10mm以上  数量：○本  (2) ○○取付け用  材料：ねじ  寸法：φ4×10mm以上  間隔：@300mm以下 | (1) ○○取付け用  材料：同左  寸法：φ4×10mm  数量：同左  (2) ○○取付け用  材料：同左  寸法：φ4×10mm  間隔：@300mm |

試験体と申請仕様が同じ場合は、“同左”でも結構です。

3．試験体の選定理由

　試験体の選定理由を表4～表6に示す。

全ての項目を埋める必要はありません。

表4　試験体の寸法

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 選定理由 |
| 枠外幅 | ・寸法は熱変形が一番大きくなるように最大仕様を選定した。 |
| 開口幅 | ・寸法は熱変形が一番大きくなるように最大仕様を選定した。 |
| 枠外高さ |  |
| 開口高さ |  |
| 上枠見付け寸法 | ・寸法は熱変形が一番大きくなるように最小断面の仕様を選定した。 |
| 下枠見付け寸法 | ・寸法は熱変形が一番大きくなるように最小断面の仕様を選定した。 |
| 押縁見込寸法 | ・寸法は熱変形が一番大きくなるように最小断面の仕様を選定した。 |
| 枠見込寸法 | ・寸法は熱変形が一番大きくなるように最小断面の仕様を選定した。 |

表5　試験体の主構成材料

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 選定理由 |
| 上枠 | ・厚さは熱変形が一番大きくなるように最小仕様を選定した。 |
| たて枠 | ・厚さは熱変形が一番大きくなるように最小仕様を選定した。 |
| 下枠 | ・厚さは熱変形が一番大きくなるように最小仕様を選定した。 |
| ガラス | ・厚さは耐熱性が最も小さくなるように最小仕様を選定した。 |
| 遮炎材 | ・寸法は遮炎性が最も小さくなるように最小仕様を選定した。 |

表6　試験体の副構成材料

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 選定理由 |
| アンカー |  |
| セッティングブロック |  |
| ガラス押え | ・申請仕様に同じとした。 |
| バックアップ材 | ・申請仕様に同じとした。 |
| 仕上げ塗料 | ・申請仕様に同じとした。 |
| 面格子 | ・遮蔽率は既試験結果より最大を選定した |
| 留付材 | ・寸法は壁の熱変形が一番大きくなるように留付力が一番劣る最小仕様を選定した。  ・数量は壁の熱変形が一番大きくなるように留付力が一番劣る最小仕様を選定した。 |

既に行われた試験結果に依る場合は、

その試験結果を添付してください。

4.構造説明図：

　構造説明図を図○～図○に示す。

5.施工方法：

※図についての注意事項

・姿図及び断面図(鉛直・水平)において原則、

表2及び3の全ての部品の取付け位置が確認できるように記載してください。

・申請仕様の構造が複数ある場合は、全て記載してください。

・主構成材料については原則、寸法等が確認できる詳細図を記載してください。

・遮炎材等の遮炎性に寄与する部品においては、

必ず取付け位置が特定できるよう図又は表中に文言を記載してください。

・図の順番については、表の項目の順番に揃えて記載してください。

施工図は施工手順を理解しやすいような図を適宜選んで記載してください。（取り付け状況が明確になるならば、構造説明図と同じ図でも結構です。）

施工図を図○～図○に示す。

施工は以下の手順で行う。

配置方法

寸法

その他

(1)○○○の取付け

　・取付

留付材（例：ボルト、溶接等）

留付間隔

留付場所

その他

　・留付材

例：バックアップ材、シーリング材

その他

　・目地

例：塗厚、養生期間等

その他

　・仕上げ

　・施工時注意事項

例：鉄骨面は施工に支障がないように清掃する。

その他

(2)□□□の取付け

規格化された施工仕様がある場合は記載してください。

　・取付寸法

　・留付材

　・目地

　・仕上げ

　・施工時注意事項

(3) △△△の取付け

　　　　・

　　　　・

　　　　・

　　　　・

(4)×××の取付け

　・取付寸法

　・留付材

　・目地

　・仕上げ

　・施工時注意事項

6.試験体図：

　試験体図を図○～図○に示す。

・試験体の構造が明確になるように周壁を含めて姿図・断面図(鉛直・水平)を記載してください。

（表2及び3の試験体の項目が全て特定できるように表現してください。）

**(注意点)**

**当該ページのご提出は不要です。**

〇申請図書の表記上の注意点

句読点は“、。”としてください。

表番号や節番号は半角で記載してください。

原則として左揃えで記載してください。但し、表題及び表中の列題は中央揃えで記載してください。

　物性値の単位はSI単位としてください。

　平方メートル等の記号は、全角文字「㎡」や「m2」とせず、半角文字で「m2」としてください。

○仕様の記載について

各項目ならびに仕様の記載は、申請される内容に基づいて記載してください。

　仕様は、次のタイプ1～4のいずれかの形式で記述してください。

|  |  |
| --- | --- |
| タイプ1 | 国土交通大臣の認定番号で材料を特定  注）認定品の仕様に範囲がある場合は、その認定品のうち、防火上不利なものを試験体に選定する必要があります。 |
| タイプ2 | JIS番号で材料、材質を特定  注）JIS番号だけでは材料が特定できない場合は評価できない場合があります。JISに規定する種類等まで特定が必要になる場合があります。 |
| タイプ3 | 日本農林規格で材料を特定  注）集成材などの接着剤を用いる材料の場合、使用部位により接着剤も選定の対象になることがあります。 |
| タイプ4 | 組成(質量％、又は配合比等)、材質で材料を特定  注）組成に範囲がある場合、試験体は防耐火性能(遮炎性能)上不利な配合の仕様を試験体にします。 |

○仕様の数値の表記について

以下の要領に従ってください(下記例示は単位をmmとしています。)。また、数字と単位の間にスペースは入れないでください。

　(a)仕様の数値が特定できる場合

○mm、○×○mm

　(b)仕様の数値が特定できるがばらつき(公差)を持つ場合

○(±●)mm、○(±●)×○(±●)mm

上記の場合、「〇」は基準値、「±●」は公差となります。

公差が基準値の1割以上を超える場合は、妥当性について確認が必要となる場合があります。

　(c)仕様がある範囲を持っている場合

○～○mm、○×○mm以上

大臣認定の認定書写し

評価対象に不燃材料等の大臣認定品が含まれる場合、申請仕様に記載した認定番号に該当する認定書（別添を含む）の写しを提出してください。

また、次の目録をつけてください。

なお、仕様に範囲のあるものについては、防耐火性能上不利な仕様を選定する必要があります。不利な仕様を選定したかを確認するため、製造証明書が必要となります。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 認定番号 | 認定件名 | 根拠条文・性能 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |